

授業科目名	グローバルリーダー入門	担当教員	小畑 克典
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年 第1クォーター		
講義内容	<p>近年、「グローバルリーダー」という言葉を目にする機会が増えたが、それでは「グローバルリーダーとは何か？」と問うと、その定義はいささか曖昧である。</p> <p>本講義は「グローバルとは何か？」という問いかけから始めた上で、日本国内でも国外でも共通して生じる、「異質なものとのチーム活動・チーム運営」に焦点をあてる。</p> <p>異なる文化的背景、価値観、目標設定、スキルセットを持った多様な人間が、共通のゴールを設定してチームを組成した時に生じる課題と、それへの対処について考え、実践へのヒントを各自見出していくことが本講義の目標である。</p> <p>講義では、ビジネスの現場で直面したさまざまな実例を教材とし、ゲスト講義、スキットを用いたロールプレイを交えながら、リーダーシップ・フォロワーシップのあり方について受講者とともに考えていく。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化や異なる価値観を理解する態度を身につけること ・ 多様性を持ったチームにおける共通のゴール設定、課題の発見と解決への筋道を見出す力を身につけること ・ チームの成り立ちと状況に応じて柔軟なリーダーシップを発揮することの必要性を理解すること 		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション。国際派とは？グローバルとは？</p> <p>第2回 多様性の中で生きると/異文化に飛び込む</p> <p>第3回 グローバルとローカルの狭間</p> <p>第4回 文化の違いとステレオタイプ</p> <p>第5回 リーダーのレジティマシー（正統性）</p> <p>第6回 リーダーシップの6類型</p> <p>第7回 ビジョンを共有する</p> <p>第8回 カルチャーを育てる</p> <p>第9回 フィードバックを行う/悪い報せを伝える</p> <p>第10回 チームの中で差別と向き合う</p> <p>第11回 ハラスメント/異議を申し立てる</p> <p>第12回 まとめ。グローバルリーダーシップとは何か</p>		
事前・事後学習	<p>授業のテーマに沿って、課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。</p>		

	授業でロールプレイを行う際には事前に講師からスキットを配布するので、目を通しておくこと。 授業でロールプレイを行う際には事前に講師からスキットを配布するので、目を通しておくこと。
テキスト	なし
参考文献	都度指示する
成績評価の基準	受講態度（出席、授業中の議論への貢献） 30% 課題の提出状況・内容 30% 期末試験 40%
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして講義を行うことから、実践的教育に該当する。
備考欄	定員超過の場合、抽選により履修者を選定する。